

令和 7 事業年度決算報告書

事業報告・財務諸表

公益財団法人 市原市文化振興財団

令和 7 事業年度 公益財団法人市原市文化振興財団事業報告 概要

当財団は、市原市の芸術文化、生涯学習及びコミュニティを振興するため、財団の持つ専門性や総合力を活かしながら、「市原市文化振興計画」の基本理念である「ひと輝き まち輝く 文化の香り高いまち いちはら」を念頭に、行政や市民をはじめ、各種文化団体等と連携・協力しながら市内の芸術文化の振興等に寄与するため各種事業を実施してまいりました。

令和 7 事業年度については、市原市市民会館（以下「市民会館」という。）の第四期指定管理期間（令和 3 年から令和 7 年度まで）の最終年度であり、市原市の文化振興の拠点として、市民の皆様がより身近に文化芸術や文化活動に親しむ機会を提供することができるよう、様々な世代を対象とした文化事業等の実施に積極的に取り組みました。

また、施設の設置目的である「市民の文化及び教育の向上並びに福祉の増進」を念頭に、更なる市民サービスの向上を目指し、市民が安心・安全に市民会館施設を利用できるよう管理運営に努めました。

【公益目的事業】

文化事業については、事業計画に沿って、自主文化事業、指定管理文化事業及び受託文化事業の合計 37 事業を実施することができました。

自主文化事業では、市内小学校や地域に出向いて公演するアウトリーチ型事業をはじめ、中学校の文化部活動の地域へのスムーズな移行に繋げることを目的とした「市原市中中学生吹奏楽地域活性化事業」を地域や教育機関と連携を深めながら実施したほか、著名人を招聘した各種公演を実施するなど、市内の芸術文化の振興に寄与してまいりました。また、指定管理文化事業では、著名なアーティストや講師の公演など、高度な舞台芸術の鑑賞機会を提供したほか、令和 6 事業年度に引き続き市原市と連携を図りながら実施した「エンジン 03 in 市原」や市原市文化団体連合会との連携による「文化芸術ワークショップ」の実施、子育て世代が体験を交えながら鑑賞できる「おやこ de オペラ鑑賞デビュー」や市民と作り上げる参加型事業の「市民ピアノリレーコンサート in 市原」を新たに取るなど、市民の皆様が幅広く文化芸術に親しむことのできる機会の提供に努めました。

施設管理事業については、市民会館施設の老朽化が進行するなか、利用に支障が出ないよう修繕等を実施するなど、施設の維持管理に努め、市民が安心・安全に利用できる施設運営を行いました。

また、市民会館の指定管理においては、指定管理者として新たに第五期指定管理期間（令和 8 年度から令和 12 年度まで）の指定を受けました。

【収益事業等】

令和 7 事業年度の宴会室での飲食提供事業については、飲食提供に必要不可欠な厨房設備等が老朽化してきており、設備修繕等の必要があることから、市原市と協議を重ね、臨時会議室等として使用することとなったため、現在は休止しております。また、各種公演のチケット受託販売事業と舞台看板、ピアノ調律等の施設利用者の利便性向上のための事業を精力的に行い、これら二つの事業を合わせた収益は、令和 6 事業年度と比較し増加しました。

I 公益目的事業

1 文化事業

(1) 自主文化事業

財団の自主文化事業として、中学校文化部活動の地域へのスムーズな移行に繋げることを目的とした事業や、市内の学校や公共施設等へ出向いてのアウトリーチ型事業、動画による公演の配信、文化芸術に携わる人々を育成・支援する文化振興ボランティア事業やアーティストの登録・育成事業などを実施しました。

①自主文化事業（動画再生回数は令和8年3月31日時点）

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数 視聴回数	事業概要
1	いちはら Artists Power	令和8年3月31日現在 登録アーティスト数 45組		財団主催の事業や市民団体等が主催するイベントに出演していただける文化芸術アーティストを募集・登録し、アーティストに活躍の場を提供するほか、文化芸術の力で市原市をもっと元気にすることを目的とする育成型事業。
2	いちはら 文化振興ボランティア	令和8年3月31日現在 登録ボランティア数 23名 ボランティア参加数 9名		財団が主催する事業において、運営をサポートしていただくボランティアを募集・登録することで、文化振興に参加する人材を育成する育成型事業。
3	文化情報紙 「おんぷ」	年4回発行		財団の文化事業の情報や市民会館のイベント情報等を掲載する文化情報紙を発行する広報事業。
4	出前講座 サイエンスショー	5月27日 28日 29日 市内小学校 (全6校)	1,502名	市内各小学校に出向き、市原市の将来を担う子供達に科学のおもしろさを伝えるとともに不思議な体験から、児童達の自己啓発を促し、生涯学習の一助となることを目的とする生涯学習事業。
5	市原市中学生吹奏楽 地域活性化事業	【練習講座】 5月31日 国分寺台西 中学校 【リハーサル】 8月23日	150名 300名	中学校の文化部活動の地域へのスムーズな移行に繋げることを目的とする事業。

		大ホール 【演奏会】 9月27日 大ホール 【練習会】 10月25日 11月24日 1月25日 大ホール	1,294名 900名	
6	音楽活動支援事業 自分たちだけの コンサート	7月5日 6日	4組13名 4組13名	ホールで本番と同様に舞台・音響・照明等を セットし、自由に練習できる場を設けること で、アマチュアの音楽活動を支援することを 目的とする参加型事業
7	まちくる！ vol.45 動画配信バージョン キャロット yoshie. ソロ演舞 vol.46 Virtuoso Ensemble Concert	動画配信 12月17日 令和8年 1月25日 泉台コミュニ ティホール	視聴回数 237回 75名	「いちはら Artists Power」登録アーティス ト等を活用し、市内各所でイベントを実施す るほか、動画共有サイトにてミニコンサート を動画配信する等、アーティスト育成及び市 原市の芸術文化活動振興を目的とする育成・ 鑑賞型事業。 「いちはら Artists Power」登録アーティス トである「キャロット yoshie.」（義手・義足 ダンス）によるソロ演舞。 「いちはら Artists Power」登録アーティス トである「Virtuoso」（吹奏楽）によるコン サート。
8	春風亭一之輔 独演会	2月23日 小ホール	480名	日本の伝統話芸である落語を鑑賞する場を 提供し、高い芸術性を備えた娯楽に触れる機 会をつくるとともに、豊かな文化と芸術の振 興を目的とする鑑賞型事業。

9	石田組 コンサート	3月28日 大ホール	1,436名	人気弦楽アンサンブルの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台芸術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。
---	--------------	---------------	--------	---

②共催公演事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	イルカ コンサート	令和7年 5月25日 大ホール	932名	人気アーティストの公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】(株)MA Sエンターテイメント
2	高嶋ちさ子& 加羽沢美濃 コンサート	6月19日 大ホール	1,412名	人気アーティストの公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】(株)MA Sエンターテイメント
3	よしもとお笑いライブ in 市原	6月6日 大ホール	473名	人気お笑いタレントの公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】吉本興業(株)
4	市原フィルハーモニー 管弦楽団 定期演奏会	6月22日 大ホール	831名	市内のアマチュア管弦楽団の公演を共催することで、市民に音楽文化を広めることを目的とする鑑賞型事業。 【主催】市原フィルハーモニー管弦楽団
5	ゴールデンボンバー コンサート	8月9日 大ホール	1,389名	人気アーティストの公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】エイベックス・ライブ・クリエイティブ(株)
6	稲川淳二の怪談ナイト	8月17日 大ホール	764名	豪華なセットと怪談話による公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】(株)ケーエムミュージック
7	市原市楽友協会 市民コンサート	12月14日 大ホール	770名	市内の音楽愛好家団体の公演を共催することで、市民に音楽文化を広めることを目的と

				した鑑賞型事業。 【主催】市原市楽友協会
8	奥田民生 コンサート	令和 8 年 1 月 11 日 大ホール	1,403 名	人気アーティストの公演を共催することで、 市民が芸術文化に触れる機会を増やすこと を目的とした鑑賞型事業。 【主催】(株)ディスクガレージ
9	南こうせつ コンサート	2 月 14 日 大ホール	940 名	人気アーティストの公演を共催することで、 市民が芸術文化に触れる機会を増やすこと を目的とした鑑賞型事業。 【主催】(株)MA S エンターテインメント
10	いちはら春の祭典 コンサート	3 月 8 日 小ホール	250 名	市内の文化芸術活動団体の公演を共催する ことで、市民の文化芸術の振興を図ることを 目的とした鑑賞型事業。 【主催】ミュージアムロフト

③支援事業

令和 7 事業年度の支援事業の実施はありませんでした。

(2) 指定管理文化事業

市民会館施設の設置目的を達成するための事業で、優れた芸術文化を創造・鑑賞・体験する機会を提供するために、市民会館を市原市の文化の拠点と位置づけ、次の事業を実施しました。

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数 視聴回数	事業概要
1	ゴスペラーズ コンサート	令和 7 年 4 月 6 日 大ホール	1,386 名	人気アーティストの公演を実施することで、 市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる 機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする 事業。
2	Lumie Saxophone Quartet コンサート	4 月 19 日 小ホール	280 名	人気サクソフォン四重奏団の公演を実施す ることで、市原市民に芸術性の高い音楽に触 れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的と する鑑賞型事業。
3	県民芸術劇場 親子で楽しむ 室内管弦楽コンサート	4 月 26 日 小ホール	358 名	0 歳からの子供を対象に室内楽コンサートを 開催し、聴くだけでなく実際に楽器演奏体 験をすることで、未来を担う子供達にクラシ

				ック音楽の素晴らしさを感じてもらうことを目的とする体験・鑑賞型事業。
4	芸術家育成事業 フルート教室	5月11日 大ホール (舞台上)	36名	木管楽器として有名なフルートの演奏体験を提供することで、次代を担う芸術家を育成することを目的とする支援・育成事業。
5	市民会館探検ツアー	7月26日・27日 大ホール及び小ホール 26日 (1回目) 48名 (2回目) 39名 27日 (1回目) 44名 (2回目) 38名		市民会館の裏側をより深く知ってもらい、舞台技術や舞台芸術への興味・関心を啓発するために実施した参加・体験型事業。
6	文化芸術 ワークショップ	7月20日 7月21日 ホール棟 8月3日 会議室棟	24名 57名 57名	市内文化団体と連携し、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造や地域文化の活性化につなげることを目的とする育成型事業。
7	神田伯山 独演会	8月22日 小ホール	468名	日本の伝統芸能である講談を鑑賞する場を提供し、高い芸術性を備えた娯楽に触れる機会をつくとともに、豊かな文化と芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。
8	おやこ de オペラ 鑑賞デビュー	8月24日 小ホール	221名	オペラの鑑賞方法を分かりやすく紹介し、親子で鑑賞できる機会を提供することで、オペラへの興味・関心を深めることを目的とする体験・鑑賞型事業。
9	近藤真彦 コンサート	9月23日 大ホール	1,440名	人気アーティストの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする事業。
10	市原市文化祭			地域の伝統や文化を育み伝承していくため、市民が文化活動で鍛錬した成果発表の場を設けることで、市民文化活動の活性化を図ることを目的とし、市民と協働し元気なふるさとづくりを目指す参加・鑑賞型事業。

「工芸展」	9月27日・28日 会議室棟	312名	ガラス工芸や陶芸、木工、染色、磁器絵付けなどを展示する文化事業。
「合唱祭」	9月28日 大ホール	500名	市民や団体が女声、男声、混声、手話コーラスなどの合唱を披露する文化公演。
「アンサンブルフェスタ」	10月12日 大ホール	400名	各種の楽器演奏団が様々な形態の合奏を披露する文化公演。
「朗読音楽劇」	10月12日 小ホール	120名	「市原の民話」を中心にオリジナル脚本を起こし、音楽・芝居・舞踊等をミュージカル仕立て披露する文化公演。
「民舞大会」	10月19日 大ホール	300名	市内の舞踊各流派の団体が、艶やかな着物姿で踊りを披露する文化公演。
「吟詠剣詩舞大会」	10月19日 小ホール	150名	市民や団体が吟詠に合わせ舞う剣舞と詩舞という古武道の格式と詩の心を表現する文化公演。
「三曲大会」	10月25日 小ホール	150名	市民や団体が箏、三弦、尺八の3種の楽器を用いて、古曲、現代曲等の演奏を披露する文化公演。
「短歌大会」	10月26日 会議室棟	43名	市民が応募した短歌を発表する文化事業。
「俳句大会」	11月1日 会議室棟	30名	市民が投句した詩を発表する文化事業。
「茶会」	11月9日 会議室棟	94名	市民や団体が茶の作法を伝え、披露する文化事業。
「音の輪きずな祭」	11月9日 大ホール	300名	音を楽しみ音でつながる新たな演舞スタイルを披露する文化公演。
「民謡秋まつり」	11月9日 小ホール	150名	市民や団体が豊作、祭などに彩られる秋を舞台上で唄、三味線等で表現する文化公演。
「ハワイアンフラ祭り」	11月16日 大ホール	450名	市民や団体がハワイアンフラの魅力を伝え、披露する文化公演。
「郷土芸能大会」	11月16日 小ホール	150名	市内各地域で伝承される郷土芸能である「お囃子」や「ひょっとこ踊り」などを披露する文化公演。
「バレエ公演」	12月7日 大ホール	800名	市民や団体がバレエの華麗な舞を披露する文化公演。

	「歌謡祭」	12月7日 小ホール	300名	市民や団体が日頃から練習している歌謡を披露する文化公演。
	※市民会館以外の会場では、次の催物を実施しました。 「美術展」「盆栽展」「華道展」「菊花展」「能楽大会」			
11	生涯学習支援 「市原市小学校音楽発表会」 「市原市中学校音楽発表会」 「特連文化フェスティバル」	10月30日 大ホール 10月31日 大ホール 12月12日 大ホール	1,500名 1,500名 665名	市内の小・中学生が芸術文化活動の成果を発表する場を設け、音楽芸術の向上と地域社会の活性化を図ることを目的とする参加・鑑賞型事業。 市内小中学校特別支援学級及び千葉県立市原特別支援学校の学生が日頃の学習や文化的活動を発表する場を設け、芸術文化に親しむことで地域コミュニティの交流と教育の向上並びに福祉の増進を図ることを目的とする参加・鑑賞型事業。
12	市民の日記念 夢の架け橋 コンサート	11月2日 大ホール	903名	市内の小中学校・高等学校吹奏楽部及び合唱部で、各種大会及び音楽コンクールなどに出場し各賞に輝いた学校にその成果を披露できる場を提供するとともに、市民がその演奏や合唱を鑑賞することで、音楽芸術文化の向上を目的とする参加・鑑賞型事業。
13	親子劇場 さらば青春の光 ステゴロツアー	11月8日 大ホール	1,446名	親子で参加できる公演を実施することで、子育て世代に優れた舞台芸術に触れる機会を提供するとともに、これからの未来を担う子供たちに芸術文化への興味・関心を啓発することを目的とする参加・鑑賞型事業。
14	みらいを奏でる音楽会	12月6日 大ホール	1,206名	クラシック音楽の公演を実施することで、市原市民に高度な芸術音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。
15	エンジン03 in 市原	令和8年 1月31日 小ホール 2月1日	オープニング シンポジウム 282名 一般講座	令和6事業年度の「エンジン02 in 市原」に引き続き、「エンジン03 in 市原」を実施。

		会議室棟	387 名 ハローワーク	
		大ホール	16 名 ハローワーク	
			4 名	
16	市民参加型事業 市民ピアノリレー コンサート in 市原	3 月 21 日 大ホール	300 名	市民が気軽に参加できる事業を企画し、市民と作り上げる参加型事業。

(3) 受託文化事業

市原市・市原市教育委員会の主催する「更級日記千年紀講演会」及び「更級日記千年紀文学賞授賞式」の運営業務を受託しました。

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	更級日記千年紀講演会 (辻村深月トークイベント)	令和 7 年 9 月 23 日 小ホール	443 名	市原市・市原市教育委員会の主催する「更級日記千年紀事業講演会」の運営業務を受託する事業。
2	第 5 回更級日記千年紀 文学賞授賞式	11 月 15 日 小ホール	57 名	市原市・市原市教育委員会の主催する「更級日記千年紀文学賞授賞式」の運営業務を受託する事業。

2 施設管理運営事業

(1) 施設管理及び施設貸出

①ホール・会議室等の貸出業務

施設貸出業務は、施設利用者の増加を目指しながら、市民が安心・安全に利用できるよう、適切な施設貸出を行いました。令和 7 事業年度のホール棟・会議室棟を合わせた利用件数は、前年度と比較し横這いであるものの、利用者数は増加しました。なお、宴会室については、飲食提供に必要な不可欠な厨房設備等が老朽化してきており、設備修繕等の必要があることから、現在は臨時会議室等として使用しております。

ア. 利用件数

(単位：件)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
令和 6 年度	194	217	1,434	6	1,851

令和7年度	199	220	1,398	27	1,844
前年度対比	102.5%	101.3%	97.4%	450.0%	99.6%

イ. 利用者数

(単位：人)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
令和6年度	85,633	31,162	37,147	337	154,279
令和7年度	82,770	37,727	38,387	1,714	160,598
前年度対比	96.6%	121.0%	103.3%	508.6%	104.0%

②保守点検・管理業務委託

利用者の安全、安心を最優先に考え、設備機器等の保全を図るため、下記のとおり保守点検等を委託しました。また、修繕が必要な箇所については、優先順位を付けて限られた修繕予算を有効に活用しました。

番号	委託業務名
1	建物管理業務委託
2	緑地管理業務委託
3	消防設備保守業務委託
4	昇降機保守業務委託
5	吸収冷温水機保守業務委託
6	ホール舞台保守業務委託
7	ホール照明保守業務委託
8	放送装置保守業務委託
9	ピアノ保守業務委託
10	電話交換機設備保守業務委託
11	一般廃棄物処理業務委託
12	産業廃棄物処理業務委託
13	ストレージタンク性能検査に伴う受検準備整備委託
14	エネルギー施設蒸気ボイラ点検業務委託
15	窒素酸化物濃度測定業務委託
16	飲料水水質検査委託
17	簡易専用水道検査委託
18	舞台運営業務委託

Ⅱ 収益目的事業

1 宴会室における飲食提供事業

令和 7 事業年度の飲食提供事業は休止いたしました。

2 その他公益目的事業の推進に資する事業

(1) チケット受託販売事業

施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外のチケットを受託販売する事業を実施しました。

(2) 施設利用者の利便性向上のための事業

市民会館において、施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板、飾花、ピアノ調律、弁当等の利用者サービス事業を実施しました。

Ⅲ その他の事業

施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出・維持管理を行う事業を実施しました。

Ⅳ その他

1 理事会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第 1 回	7 年 5 月 19 日	第 1 号	令和 6 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業報告について	原案承認
		第 2 号	令和 6 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支決算について	原案承認
		第 3 号	令和 7 事業年度第 1 回評議員会の開催について	原案可決
第 2 回	7 年 6 月 4 日	第 4 号	理事長（代表理事）の選定について	原案可決
第 3 回	7 年 9 月 1 日	第 5 号	市原市市民会館指定管理申請について	原案修正の上、可決
		第 6 号	令和 7 事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業計画の変更について	原案承認
第 4 回	7 年 9 月 26 日	第 7 号	公益財団法人市原市文化振興財団就業規則等の一部改正について	原案可決

第5回	7年12月15日	第8号	公益財団法人市原市文化振興財団職員給与規程等の一部改正について	原案可決
		第9号	公益財団法人市原市文化振興財団就業規則等の一部改正について	原案可決
		第10号	令和7事業年度第2回評議員会について	原案可決
第6回	8年3月12日	第11号	公益財団法人市原市文化振興財団情報公開規程の一部改正について	原案可決
		第12号	公益財団法人市原市文化振興財団特定費用準備資金等取扱規程の一部改正について	原案可決
		第13号	公益充実資金の保有について	原案可決
		第14号	令和7事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支補正予算（第1号）について	原案承認
		第15号	令和8事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業計画について	原案承認
		第16号	令和8事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算について（資金調達及び設備投資の見込みについての原案を含む）	原案承認
		第17号	役員賠償責任保険の加入について	原案可決
第7回	8年3月27日	第18号	公益財団法人市原市文化振興財団職員給与規程等の一部改正について	原案可決
		第19号	公益財団法人市原市文化振興財団旅費支給規程の一部改正について	原案可決
		第20号	公益財団法人市原市文化振興財団契約規程等の一部改正について	原案可決

※令和7事業年度第2回、第4回、第5回及び第7回理事会は、決議の省略による。

2 評議員会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第1回	7年6月4日	第1号	令和6事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業報告について	原案承認
		第2号	令和6事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支決算について	原案承認
		第3号	理事の選任について	原案可決
第2回	7年12月19日	第4号	評議員の選任について	原案可決

		第 5 号	公益財団法人市原市文化振興財団の役員等の報酬等及び費用弁償の支給に関する規程の一部改正について	原案可決
--	--	-------	---	------

※令和 7 事業年度第 2 回評議員会は、決議の省略による。

3 職員に関する事項

① 研修会・講習会

市民サービスの向上と職員の自己啓発、スキルアップを目的に、オンラインで開催された全国公立文化施設協会が実施する全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会に職員全員が受講したのをはじめ、各職員が各会場での研修会、講習会等を受講し、ホールの管理運営や舞台技術、文化振興や事業企画について、知識の習得やスキルアップを図りました。

② 職員数の推移

区分	令和 5 年度末（人）		令和 6 年度末（人）		令和 7 年度末（人）	
職務の級	一般職	事業年度雇用職員	一般職	事業年度雇用職員	一般職	事業年度雇用職員
7	1		1		1	
6	1					
5			1		2	
4	3		2		1	
3	1		1			
2	3		3		3	
1	2		2		2	
臨時職等		2		2		4
職員交流研修生			1		1	
計	1 1	2	1 1	2	1 0	4

貸 借 対 照 表
令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	61,821,513	95,062,005	△ 33,240,492
未収金	40,457,341	41,309,341	△ 852,000
前払金	0	806,102	△ 806,102
立替金	130,553	206,151	△ 75,598
未収消費税等	0	0	0
流動資産合計	102,409,407	137,383,599	△ 34,974,192
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	69,138,711	62,955,340	6,183,371
自主文化事業公益充実資金	32,400,000	26,800,000	5,600,000
特定資産合計	101,538,711	89,755,340	11,783,371
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2,023,572	2,023,572	0
什器備品	9,131,200	9,131,200	0
減価償却累計額	△ 10,448,923	△ 10,308,223	△ 140,700
電話加入権	101,300	101,300	0
ソフトウェア	0	0	0
繰延税金資産	2,807,124	2,493,259	313,865
その他固定資産合計	3,614,273	3,441,108	173,165
固定資産合計	108,152,984	96,196,448	11,956,536
資産合計	210,562,391	233,580,047	△ 23,017,656
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	115,500	139,102	△ 23,602
未払金	13,145,308	33,538,253	△ 20,392,945
前受金	561,000	1,744,000	△ 1,183,000
預り金	20,457,707	15,882,380	4,575,327
未払法人税等	797,400	449,000	348,400
未払消費税等	2,693,900	2,090,000	603,900
流動負債合計	37,770,815	53,842,735	△ 16,071,920
2. 固定負債			
退職給付引当金	69,138,711	62,955,340	6,183,371
受入保証金	0	0	0
固定負債合計	69,138,711	62,955,340	6,183,371
負債合計	106,909,526	116,798,075	△ 9,888,549
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	100,652,865	113,781,972	△ 13,129,107
32,400,000	26,800,000	5,600,000	
正味財産合計	103,652,865	116,781,972	△ 13,129,107
負債及び正味財産合計	210,562,391	233,580,047	△ 23,017,656

正味財産増減計算書
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,750	60	3,690
基本財産受取利息	3,750	60	3,690
特定資産運用益	91,923	16,532	75,391
特定資産受取利息	91,923	16,532	75,391
事業収益	250,242,947	242,764,628	7,478,319
施設管理事業収益	147,457,648	148,861,719	△ 1,404,071
指定文化事業収益	37,433,136	29,988,964	7,444,172
自主文化事業収益	9,065,168	8,342,753	722,415
受託文化事業収益	1,672,000	1,693,500	△ 21,500
施設貸出事業収益	49,152,545	49,620,565	△ 468,020
飲食提供事業収益	0	0	0
受託販売事業収益	3,030,432	2,348,973	681,459
利便性向上事業収益	2,432,018	1,908,154	523,864
雑収益	2,584	671	1,913
雑収益	698	164	534
受取利息	1,886	507	1,379
経常収益計	250,341,204	242,781,891	7,559,313
(2) 経常費用			
事業費	261,353,962	259,805,453	1,548,509
出演料	36,605,842	32,609,368	3,996,474
仕入	786,860	749,502	37,358
給料手当	81,080,067	76,766,459	4,313,608
役員報酬	4,853,521	4,667,518	186,003
退職給付費用	6,121,538	11,107,942	△ 4,986,404
法定福利費	11,954,455	12,443,464	△ 489,009
福利厚生費	415,088	404,812	10,276
光熱水費	35,617,270	36,992,103	△ 1,374,833
旅費交通費	10,313	8,337	1,976
消耗品費	4,646,315	4,277,937	368,378
印刷製本費	50,500	45,200	5,300
図書購入費	43,754	40,008	3,746
委託料	60,747,579	60,178,030	569,549
賃借料	3,196,345	3,570,143	△ 373,798
燃料費	36,652	36,854	△ 202
広告宣伝費	4,758,538	5,678,820	△ 920,282
通信運搬費	1,032,319	1,153,795	△ 121,476
租税公課	193,130	134,604	58,526
修繕費	4,000,000	3,993,605	6,395

科 目	当年度	前年度	増減
支払手数料	3,836,686	2,985,975	850,711
負担金	187,610	187,610	0
経理費	615,000	615,000	0
保険料	315,620	314,040	1,580
雑支出	108,260	416,856	△ 308,596
減価償却費	140,700	427,471	△ 286,771
管理費	1,632,814	1,750,314	△ 117,500
給料手当	818,971	775,405	43,566
役員報酬	427,020	497,137	△ 70,117
退職給付費用	61,833	112,201	△ 50,368
法定福利費	120,743	125,685	△ 4,942
福利厚生費	4,194	4,089	105
旅費交通費	18,647	47,512	△ 28,865
修繕費	61,149	79,640	△ 18,491
印刷製本費	0	0	0
交際費	10,620	5,000	5,620
消耗品費	0	7,000	△ 7,000
広告宣伝費	0	0	0
研修費	38,000	15,387	22,613
保険料	70,000	70,000	0
雑支出	1,637	11,258	△ 9,621
経常費用計	262,986,776	261,555,767	1,431,009
当期経常増減額	△ 12,645,572	△ 18,773,876	6,128,304
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	0	618	△ 618
経常外費用計	0	618	△ 618
当期経常外増減額	0	△ 618	618
税引前当期一般正味財産増減額	△ 12,645,572	△ 18,774,494	6,128,922
法人税、住民税及び事業税	797,400	449,000	348,400
法人税等調整額	△ 313,865	184,175	△ 498,040
当期一般正味財産増減額	△ 13,129,107	△ 19,407,669	6,278,562
一般正味財産期首残高	113,781,972	133,189,641	△ 19,407,669
一般正味財産期末残高	100,652,865	113,781,972	△ 13,129,107
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	103,652,865	116,781,972	△ 13,129,107

正味財産増減計算内訳書
令和7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	合計
	公1	小計	収1	収2	他1	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益	3,750	3,750	0	0	0	0	0	0	3,750
基本財産利息収益	3,750	3,750					0		3,750
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	91,923	91,923
特定資産利息収益	0	0					0	91,923	91,923
事業収益	195,627,952	195,627,952	0	5,462,450	49,152,545	0	54,614,995	0	250,242,947
施設管理事業収益	147,457,648	147,457,648					0		147,457,648
指定文化事業収益	37,433,136	37,433,136					0		37,433,136
自主文化事業収益	9,065,168	9,065,168					0		9,065,168
受託文化事業収益	1,672,000	1,672,000							1,672,000
施設貸出事業収益	0	0			49,152,545		49,152,545		49,152,545
飲食提供事業収益	0	0	0				0		0
受託販売事業収益	0	0		3,030,432			3,030,432		3,030,432
利便性向上事業収益	0	0		2,432,018			2,432,018		2,432,018
雑収益	688	688	0	0	0	0	0	1,896	2,584
雑収益	688	688				0	0	10	698
受取利息	0	0	0				0	1,886	1,886
経常収益計	195,632,390	195,632,390	0	5,462,450	49,152,545	0	54,614,995	93,819	250,341,204
(2)経常費用									
事業費	211,897,704	211,897,704	0	3,292,456	46,163,802	0	49,456,258		261,353,962
出演料	36,605,842	36,605,842					0		36,605,842
仕入	0	0	0	786,860			786,860		786,860
給料手当	64,700,263	64,700,263	0	818,971	15,560,833		16,379,804		81,080,067
役員報酬	3,873,014	3,873,014	0	49,020	931,487		980,507		4,853,521
退職給付費用	4,884,864	4,884,864	0	61,833	1,174,841		1,236,674		6,121,538
法定福利費	9,539,433	9,539,433	0	120,743	2,294,279		2,415,022		11,954,455
福利厚生費	331,231	331,231	0	4,194	79,663		83,857		415,088
光熱水費	26,712,954	26,712,954			8,904,316		8,904,316		35,617,270

旅費交通費	10,313	10,313	0				0		10,313
消耗品費	3,915,899	3,915,899	0		730,416		730,416		4,646,315
印刷製本費	37,875	37,875	0		12,625		12,625		50,500
図書購入費	32,813	32,813			10,941		10,941		43,754
委託料	45,644,923	45,644,923	0	639,000	14,463,656		15,102,656		60,747,579
賃借料	2,892,711	2,892,711	0	0	303,634		303,634		3,196,345
燃料費	27,488	27,488			9,164		9,164		36,652
広告宣伝費	4,758,538	4,758,538	0		0		0		4,758,538
通信運搬費	864,541	864,541	0		167,778		167,778		1,032,319
租税公課	155,499	155,499	0	800	36,831		37,631		193,130
修繕費	3,000,000	3,000,000			1,000,000		1,000,000		4,000,000
支払手数料	2,829,897	2,829,897		803,008	203,781		1,006,789		3,836,686
負担金	138,830	138,830	0	1,877	46,903		48,780		187,610
経理費	455,100	455,100	0	6,150	153,750		159,900		615,000
保険料	236,716	236,716			78,904		78,904		315,620
雑支出	108,260	108,260					0		108,260
減価償却費	140,700	140,700			0		0		140,700
管理費								1,632,814	1,632,814
給料手当								818,971	818,971
役員報酬								427,020	427,020
退職給付費用								61,833	61,833
法定福利費								120,743	120,743
福利厚生費								4,194	4,194
旅費交通費								18,647	18,647
修繕費								61,149	61,149
印刷製本費								0	0
交際費								10,620	10,620
消耗品費								0	0
広告宣伝費								0	0
研修費								38,000	38,000
保険料								70,000	70,000
雑支出								1,637	1,637
経常費用計	211,897,704	211,897,704	0	3,292,456	46,163,802	0	49,456,258	1,632,814	262,986,776

当期経常増減額	△ 16,265,314	△ 16,265,314	0	2,169,994	2,988,743	0	5,158,737	△ 1,538,995	△ 12,645,572
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,424,880	2,424,880	0	△ 1,074,713	△ 1,350,167	0	△ 2,424,880	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 13,840,434	△ 13,840,434	0	1,095,281	1,638,576	0	2,733,857	△ 1,538,995	△ 12,645,572
法人税、住民税及び事業税		0				797,400	797,400		797,400
法人税等調整額		0				△ 313,865	△ 313,865		△ 313,865
当期一般正味財産増減額	△ 13,840,434	△ 13,840,434	0	1,095,281	1,638,576	△ 483,535	2,250,322	△ 1,538,995	△ 13,129,107
一般正味財産期首残高	91,067,661	91,067,661	40,393,718	13,185,544	78,254,172	△ 73,468,947	58,364,487	△ 35,650,176	113,781,972
一般正味財産期末残高	77,227,227	77,227,227	40,393,718	14,280,825	79,892,748	△ 73,952,482	60,614,809	△ 37,189,171	100,652,865
II 指定正味財産増減の部									
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	80,227,227	80,227,227	40,393,718	14,280,825	79,892,748	△ 73,952,482	60,614,809	△ 37,189,171	103,652,865

※事業区分について

公益目的事業(公1)・・・芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業

収益事業等 (収1)・・・宴会室における飲食提供事業

収益事業等 (収2)・・・その他公益目的事業の推進に資する事業(チケット受託販売事業、施設利用者の利便性向上のための事業)

収益事業等 (他1)・・・市原市から指定された施設の管理運営事業(公益目的以外の施設貸出事業)

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

ソフトウェア 定額法によっている。

(2)引当金の計上基準

退職給付引当金 自己都合退職による期末退職給与の要支給額100%に相当する金額を計上している。

(3)消費税等の会計処理 税抜き方式によっている。

(4)税効果会計の適用 法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な正味財産増減額を計上するため税効果会計を適用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	62,955,340	6,183,371	0	69,138,711
自主文化事業公益充実資金	26,800,000	10,000,000	4,400,000	32,400,000
小 計	89,755,340	16,183,371	4,400,000	101,538,711
合 計	92,755,340	16,183,371	4,400,000	104,538,711

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債の対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	－
小 計	3,000,000	3,000,000	0	－
特定資産				
退職給付引当資産	69,138,711	0	0	69,138,711
自主文化事業公益充実資金	32,400,000	0	32,400,000	0
小 計	101,538,711	0	32,400,000	69,138,711
合 計	104,538,711	3,000,000	32,400,000	69,138,711

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法による減価償却を行っているもの)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
該当する固定資産なし			0
合 計	0	0	0

5 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	62,955,340	6,183,371	0	0	69,138,711

6 税効果会計関係

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

一時差異名	前期末残高	当期末残高	増減額
未払事業税	18,815	42,873	24,058
退職給与引当金	2,474,444	2,764,251	289,807
合 計	2,493,259	2,807,124	313,865

7 関連当事者との取引

該当事項はありません。

8 重要な後発事象

該当事項はありません。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2、3に記載をしているので、内容の記載を省略している。

2 引当金の明細

財務諸表に対する注記5に記載をしているので、内容の記載を省略している。

財 産 目 録
令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部				
1. 流動資産				
	現金預金		運転資金	170,000
	現金	手元保管	運転資金、指定管理料	51,878,157
	普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	運転資金、自主財源	7,852,421
		千葉銀行 市原市役所出張所	//	971,670
		千葉興業銀行 五井支店	//	488,393
		京葉銀行 国分寺台支店	//	175,466
		千葉信用金庫 五井支店	//	144,341
		館山信用金庫 若宮支店	//	10,711
		みずほ銀行 五井支店	//	130,354
		市原市農業協同組合 本店	2・3月分指定管理料等	40,457,341
	未収金			0
	前払金			130,553
	立替金			0
	未収消費税等			0
流動資産合計				102,409,407
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
	定期預金	みずほ銀行五井支店	公益目的保有財産。運用益は公益目的事業の財源として使用	3,000,000
基本財産合計				3,000,000
(2) 特定資産				
	退職給付引当資産			69,138,711
	普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	職員の退職手当支払準備	14,752,562
	定期預金	みずほ銀行 五井支店	//	7,000,000
		千葉興業銀行 五井支店	//	10,000,000
		京葉銀行 国分寺台支店	//	10,000,000
		千葉信用金庫 五井支店	//	7,386,149
		館山信用金庫 若宮支店	//	10,000,000
		市原市農業協同組合 本店	//	10,000,000
	自主文化事業公益充実資金		将来の自主文化事業財源として使用	32,400,000
	普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	公益充実資金として管理	32,400,000
特定資産合計				101,538,711
(3) その他 固定資産				
	車両運搬具		公用車	2,023,572
	什器備品		アウトリーチ機材等	9,131,200
	減価償却累計額			△ 10,448,923
	電話加入権			101,300
	ソフトウェア			0
	繰延税金資産		税効果会計分	2,807,124
	その他固定資産合計			3,614,273
固定資産合計				108,152,984
資産合計				210,562,391
II 負債の部				
1. 流動負債				
	買掛金		3月分仕入	115,500
	未払金		R7年度委託料、事業費等	13,145,308
	前受金		R8年度文化事業チケット代	561,000
	預り金		受託販売チケット代等	20,457,707
	未払消費税等			2,693,900
	未払法人税等			797,400
流動負債合計				37,770,815
2. 固定負債				
	退職給付引当金		職員の退職手当支払準備	69,138,711
固定負債合計				69,138,711
負債合計				106,909,526
正味財産				103,652,865